

事故の発生状況

(暦年統計)

Mission 1st
～事故削減に向け、一つずつ着実に取り組む～



- 死者 286人：令和5年と比べ15人（5.5%）増加（令和7年目標達成には61人削減が必要）
- 重傷者 1,948人：令和5年と比べ102人（5.0%）減少（令和7年目標達成中）

【全国】事業用自動車総合安全プラン2025 事故等削減数値目標

① 令和7年までに
死者数225人

【バス】 死者数 10人以下
【タクシー】 死者数 25人以下
【トラック】 死者数 190人以下

② 令和7年までに
重傷者数2,120人以下

【バス】 重傷者数 150人以下
【タクシー】 重傷者数 690人以下
【トラック】 重傷者数 1,280人以下

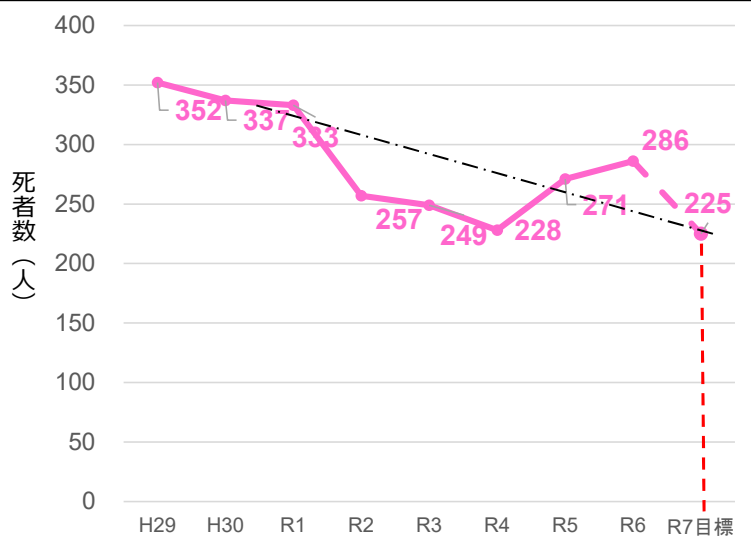
③ 令和7年までに
事故件数16,500件以下

【バス】 事故件数 800件以下
【タクシー】 事故件数 6,600件以下
【トラック】 事故件数 9,100件以下

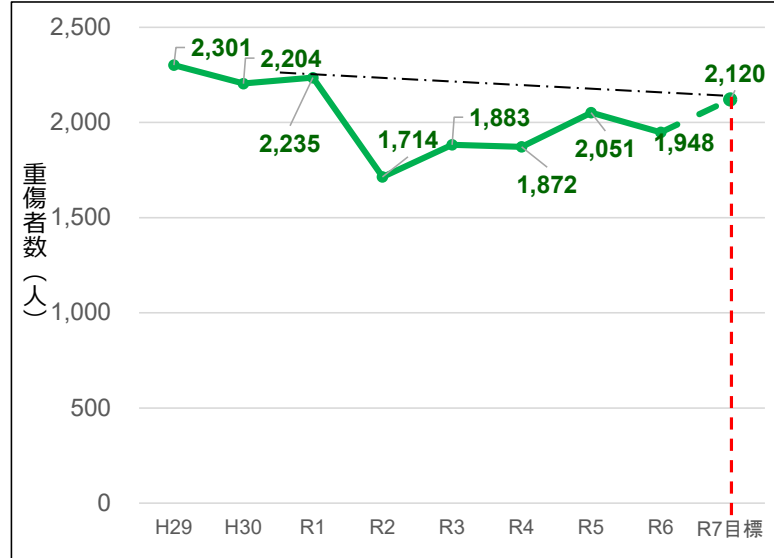
④ 飲酒運転ゼロ（★）

★バス、タクシー、トラック共通

【全国】全業態 死者数推移



【全国】全業態 重傷者数推移



※出典：(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)資料

1

- 人身事故 22,623件：令和5年から983人（4.2%）減少（令和7年目標達成には約27%削減が必要）
- 飲酒運転 66件：令和5年から大きく減少（ただし、中部管内は昨年同様（後述））

【全国】事業用自動車総合安全プラン2025 事故等削減数値目標

① 令和7年までに
死者数225人

【バス】 死者数 10人以下
【タクシー】 死者数 25人以下
【トラック】 死者数 190人以下

② 令和7年までに
重傷者数2,120人以下

【バス】 重傷者数 150人以下
【タクシー】 重傷者数 690人以下
【トラック】 重傷者数 1,280人以下

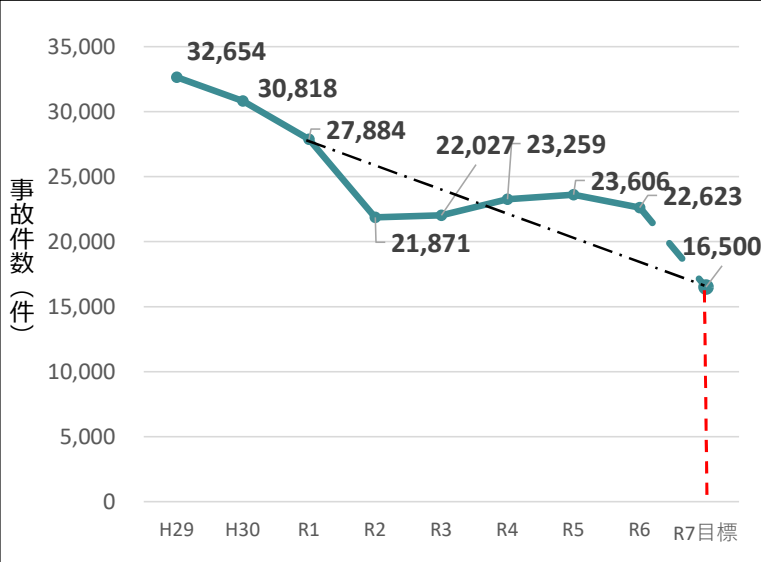
③ 令和7年までに
事故件数16,500件以下

【バス】 事故件数 800件以下
【タクシー】 事故件数 6,600件以下
【トラック】 事故件数 9,100件以下

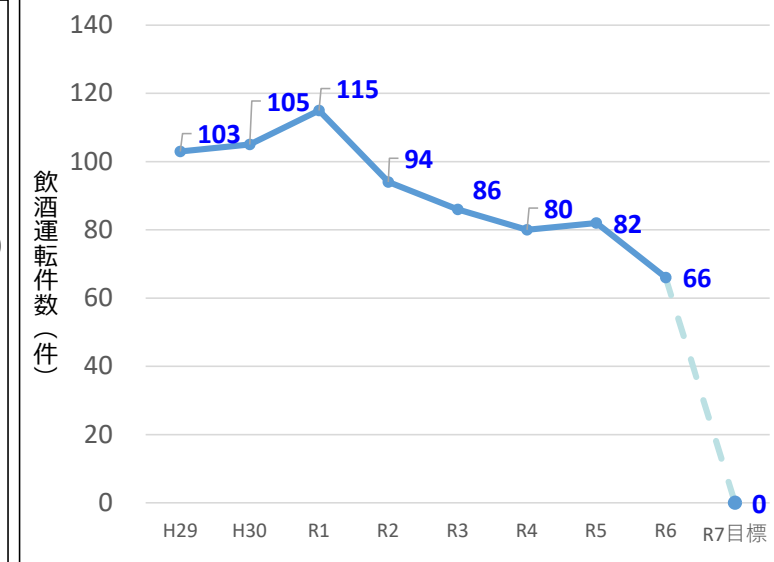
④ 飲酒運転ゼロ（★）

★バス、タクシー、トラック共通

【全国】全業態 人身事故件数推移



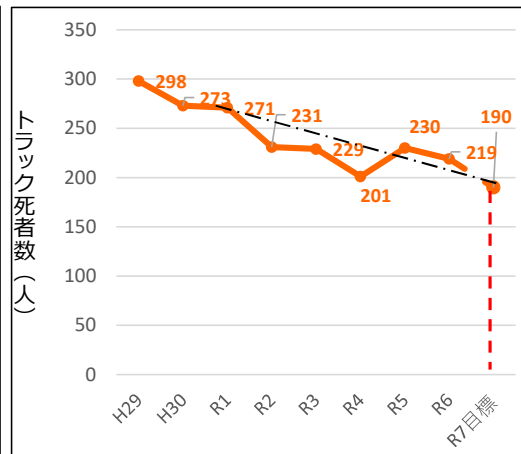
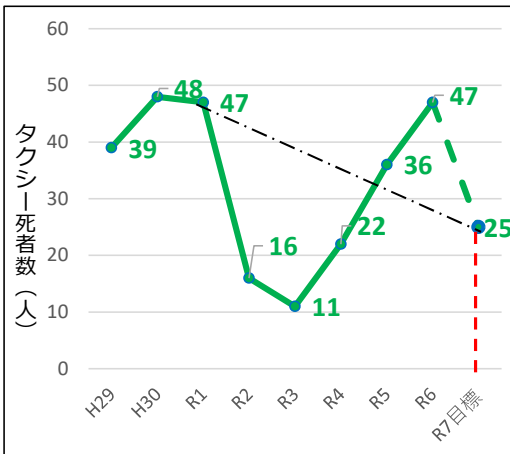
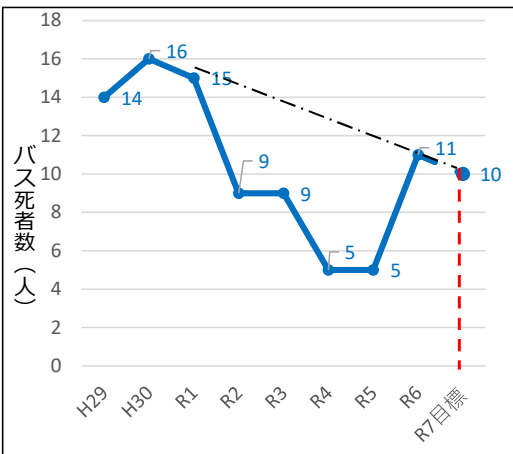
【全国】全業態 飲酒運転件数推移



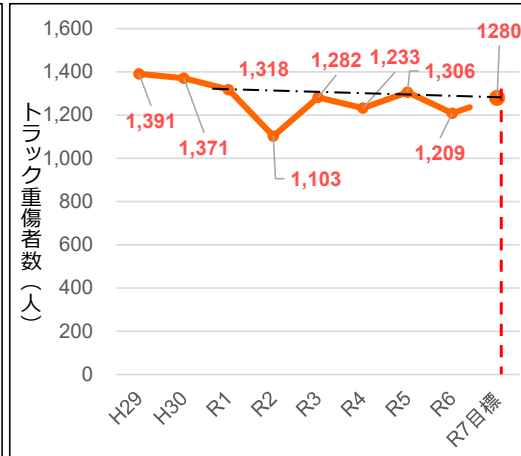
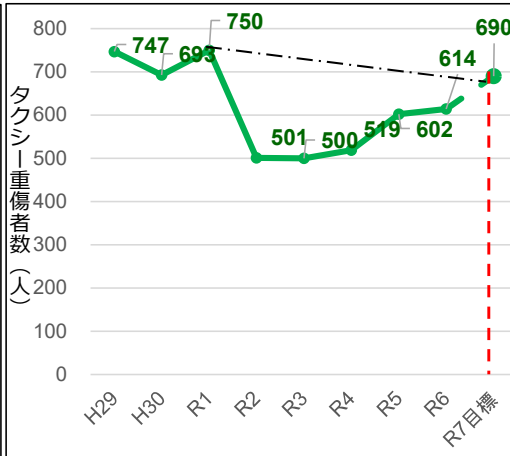
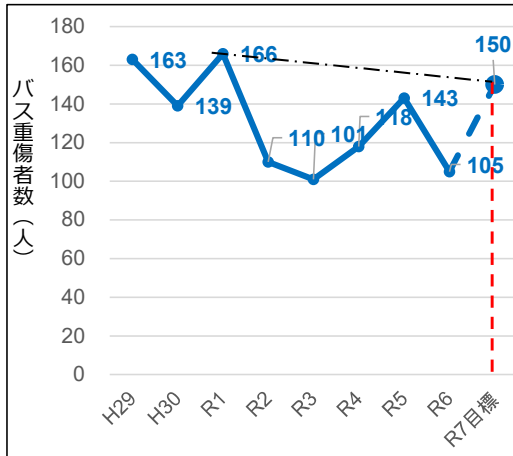
※出典：(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)資料及び中部運輸局資料(飲酒運転)

2

【全国】業態別 死者数推移



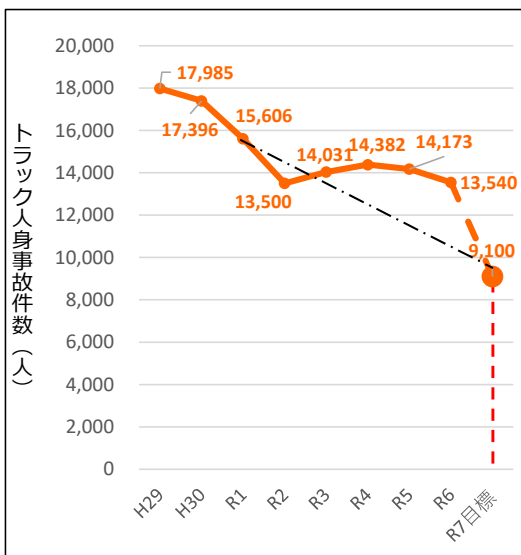
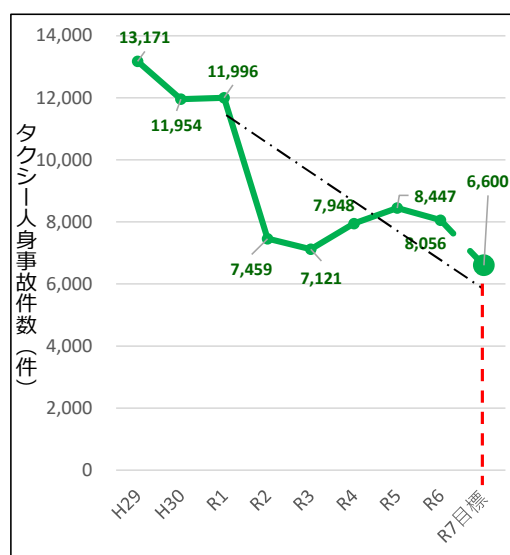
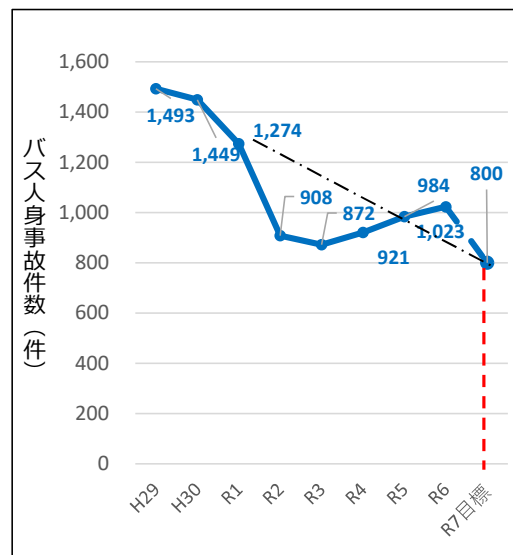
【全国】業態別 重傷者数推移



※出典：(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)資料

3

【全国】業態別 人身事故件数推移



※出典：(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)資料

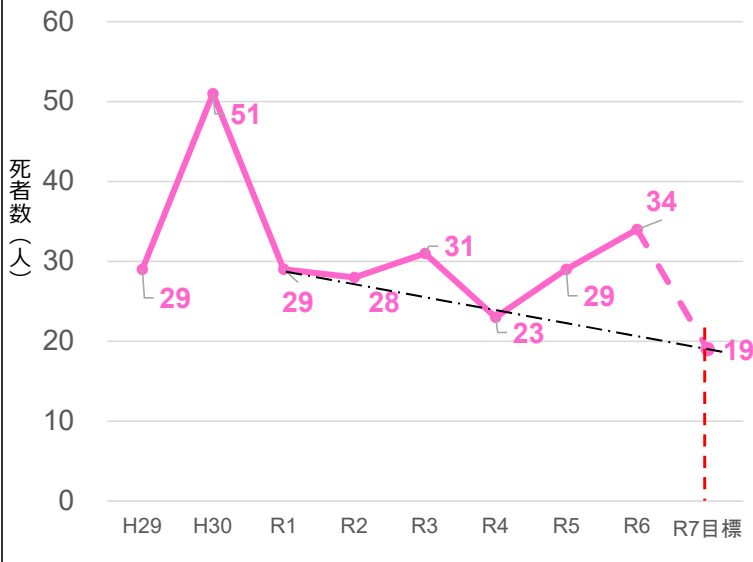
4

- 死者 34人：令和4年以降増加傾向（令和7年目標達成には15人削減が必要）
- 重傷者 105人：令和5年と比べ53人（33.5%）減少（令和7年目標達成には約23%削減が必要）

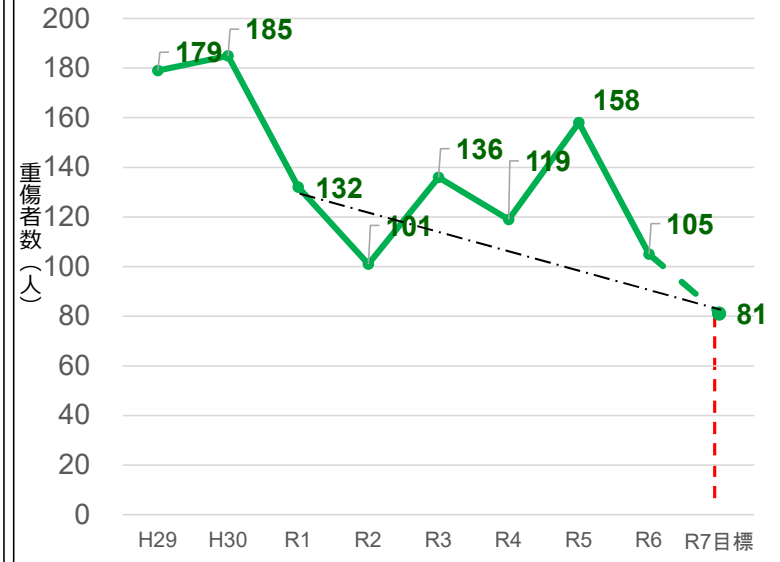
【中部ブロック】事業用自動車総合安全プラン2025 事故等削減数値目標

- ① 令和7年までに **死者数19人**
 - 【バス】 死者数 ゼロ
 - 【タクシー】 死者数 ゼロ
 - 【トラック】 死者数 19人以下
- ② 令和7年までに **重傷者数81人以下**
 - 【バス】 重傷者数 5人以下
 - 【タクシー】 重傷者数 15人以下
 - 【トラック】 重傷者数 61人以下
- ③ 令和7年までに **事故件数1,467件以下**
 - 【バス】 事故件数 54件以下
 - 【タクシー】 事故件数 423件以下
 - 【トラック】 事故件数 990件以下
- ④ **飲酒運転ゼロ（★）**
★バス、タクシー、トラック共通

【中部】全業態 死者数推移



【中部】全業態 重傷者数推移



※出典：(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)資料

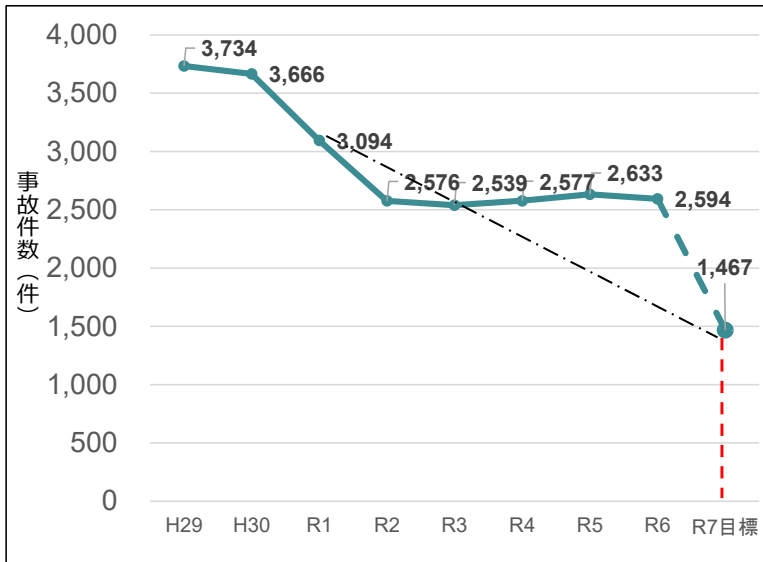
5

- 人身事故 2,594件：令和5年と比べ若干減少
- 飲酒運転 5件：令和5年と同数発生。発生した業態はすべてトラック

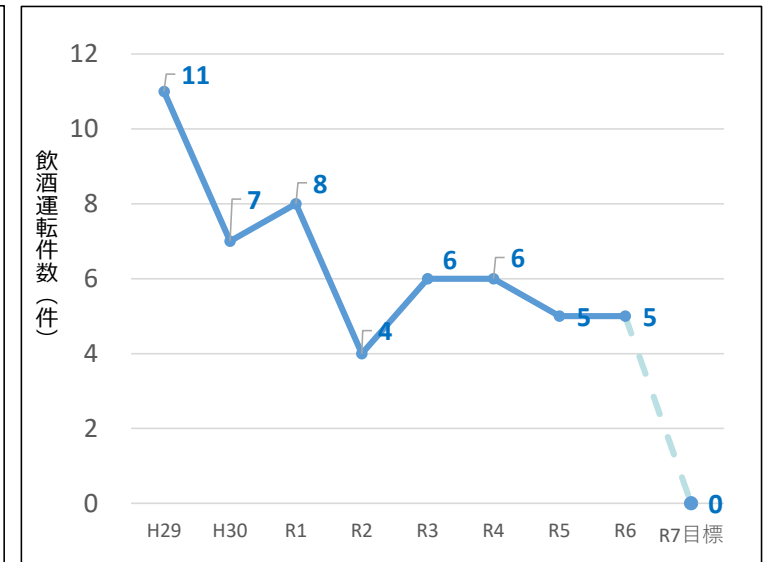
【中部ブロック】事業用自動車総合安全プラン2025 事故等削減数値目標

- ① 令和7年までに **死者数19人**
 - 【バス】 死者数 ゼロ
 - 【タクシー】 死者数 ゼロ
 - 【トラック】 死者数 19人以下
- ② 令和7年までに **重傷者数81人以下**
 - 【バス】 重傷者数 5人以下
 - 【タクシー】 重傷者数 15人以下
 - 【トラック】 重傷者数 61人以下
- ③ 令和7年までに **事故件数1,467件以下**
 - 【バス】 事故件数 54件以下
 - 【タクシー】 事故件数 423件以下
 - 【トラック】 事故件数 990件以下
- ④ **飲酒運転ゼロ（★）**
★バス、タクシー、トラック共通

【中部】全業態 人身事故件数推移



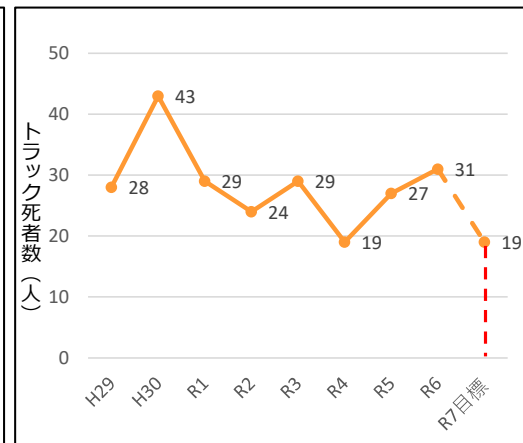
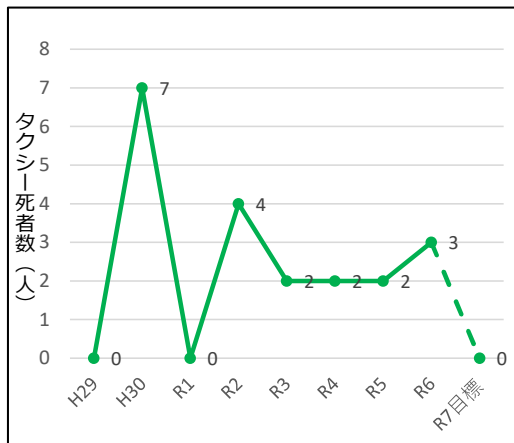
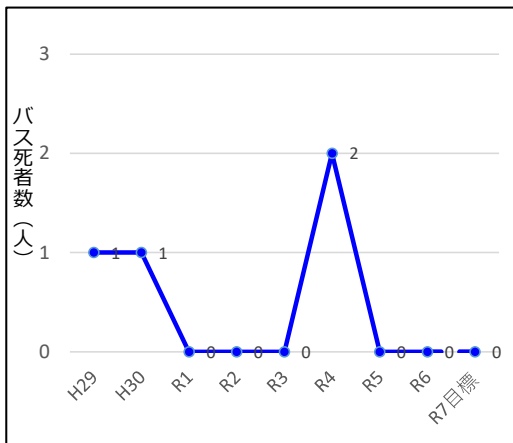
【中部】全業態 飲酒運転件数推移



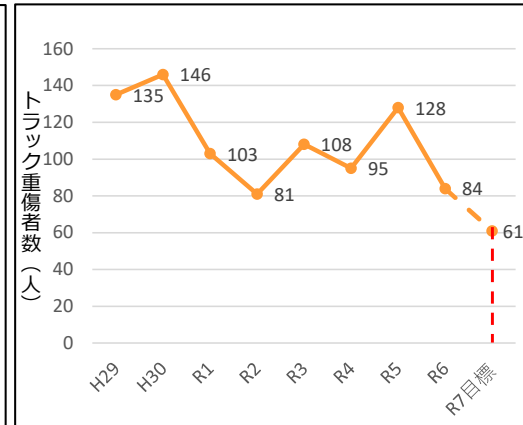
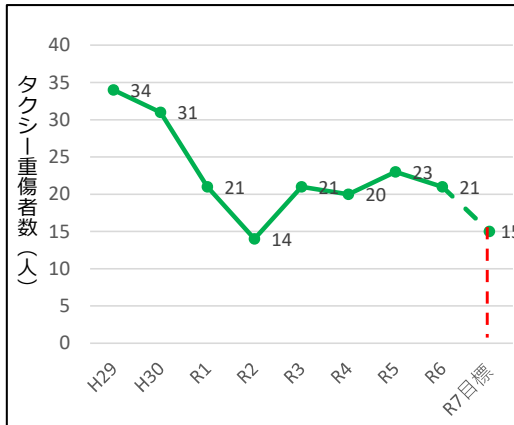
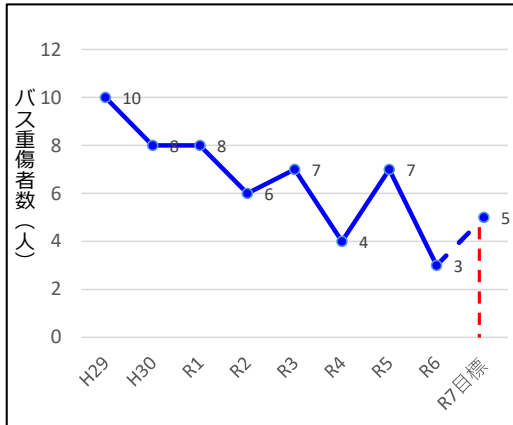
※出典：(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)資料及び中部運輸局資料(飲酒運転件数)

6

【中部】業態別 死者数推移

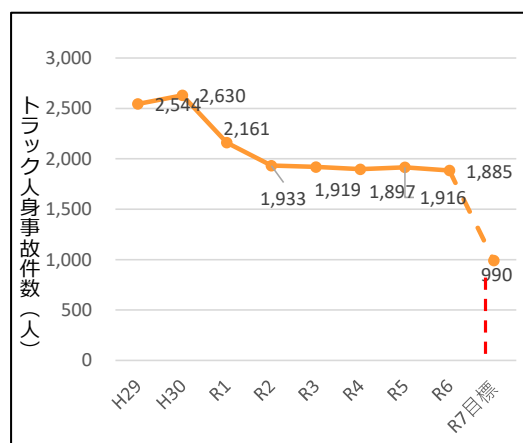
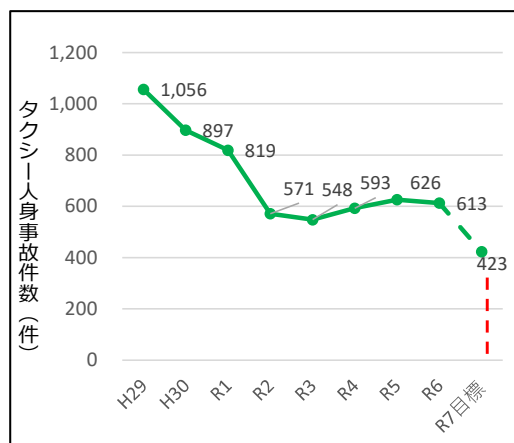
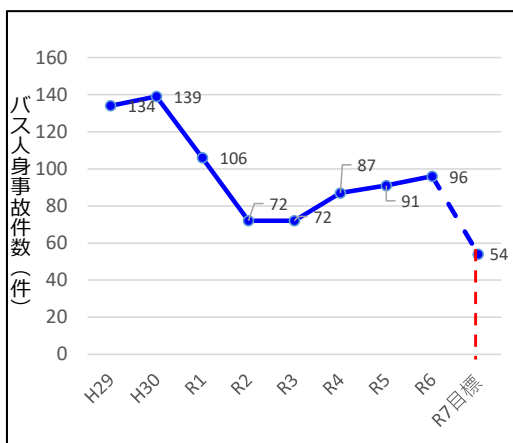


【中部】業態別 重傷者数推移



※出典:(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)資料

【中部】業態別 人身事故件数推移



※出典:(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)資料

- 乗合バスの車内事故 26件：令和5年と比べ5件（23.8%）増加（令和7年目標には15件削減が必要）
- 貸切バスの乗客負傷事故 1件：令和5年に引き続き若干ではあるが発生（ただし、令和7年目標は達成中）

【中部ブロック】事業用自動車総合安全プラン2025 事故等削減数値目標＜各業態の個別目標＞

① 令和7年までに
【乗合バス】

車内事故件数11件以下

② 令和7年までに
【貸切バス】

乗客負傷事故数 3件以下

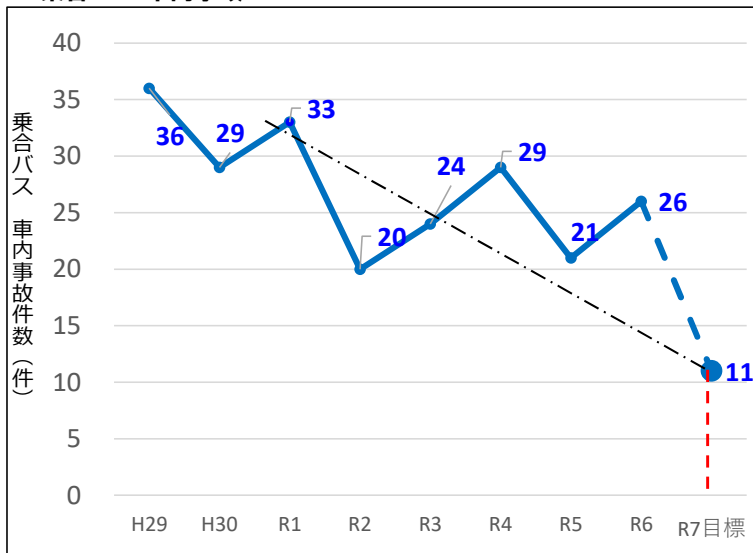
③ 令和7年までに
【タクシー】

出会い頭衝突事故件数91件以下

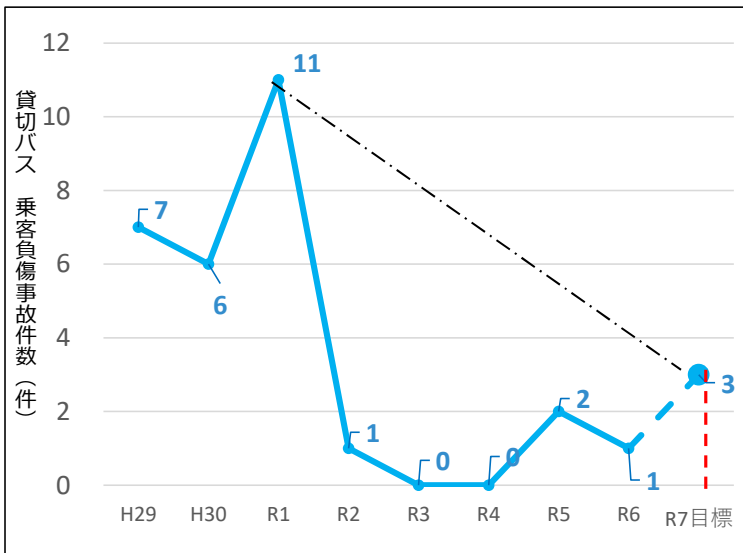
④ 令和7年までに
【トラック】

追突事故件数 506件以下

【中部】業態別 個別目標人身事故件数推移 乗合バス：車内事故



貸切バス：乗客負傷事故



※出典：(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)資料

9

- タクシーの出会い頭衝突事故 139件：令和5年は減少したが、再び増加（令和7年目標達成には約35%削減が必要）
- トラックの追突事故 885件：若干であるが、6年ぶりに増加（令和7年目標達成には約43%削減が必要）

【中部ブロック】事業用自動車総合安全プラン2025 事故等削減数値目標＜各業態の個別目標＞

① 令和7年までに
【乗合バス】

車内事故件数11件以下

② 令和7年までに
【貸切バス】

乗客負傷事故数 3件以下

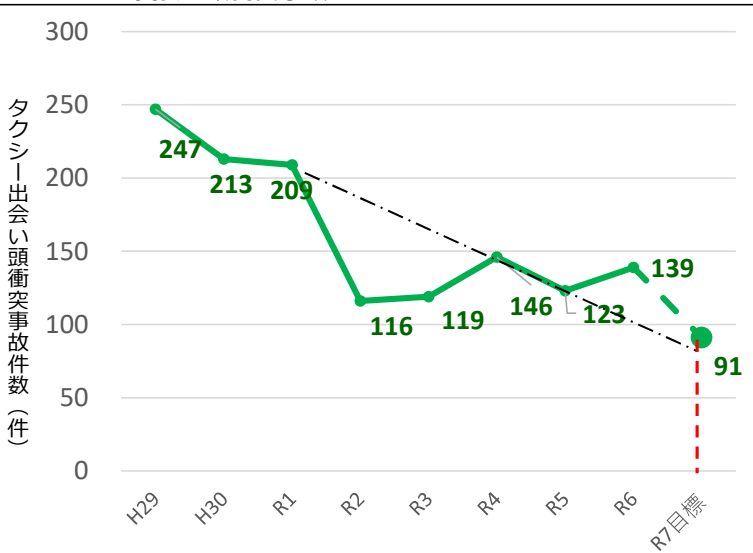
③ 令和7年までに
【タクシー】

出会い頭衝突事故件数91件以下

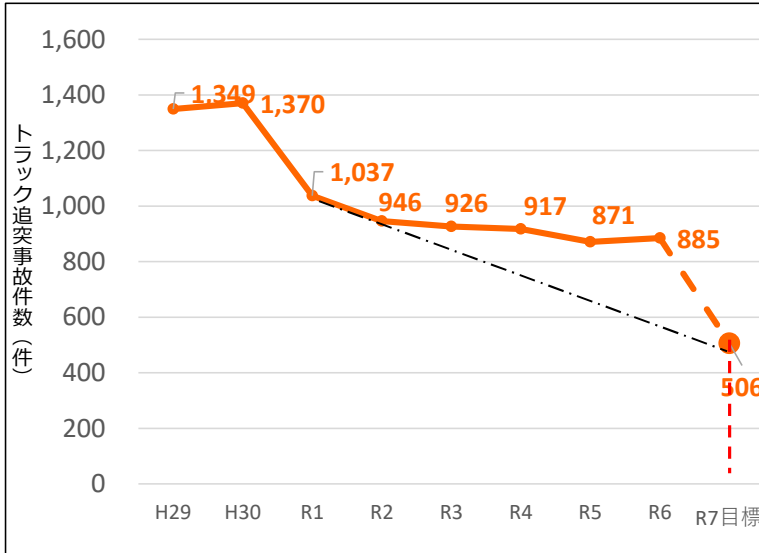
④ 令和7年までに
【トラック】

追突事故件数 506件以下

【中部】業態別 個別目標人身事故件数推移 タクシー：出会い頭衝突事故



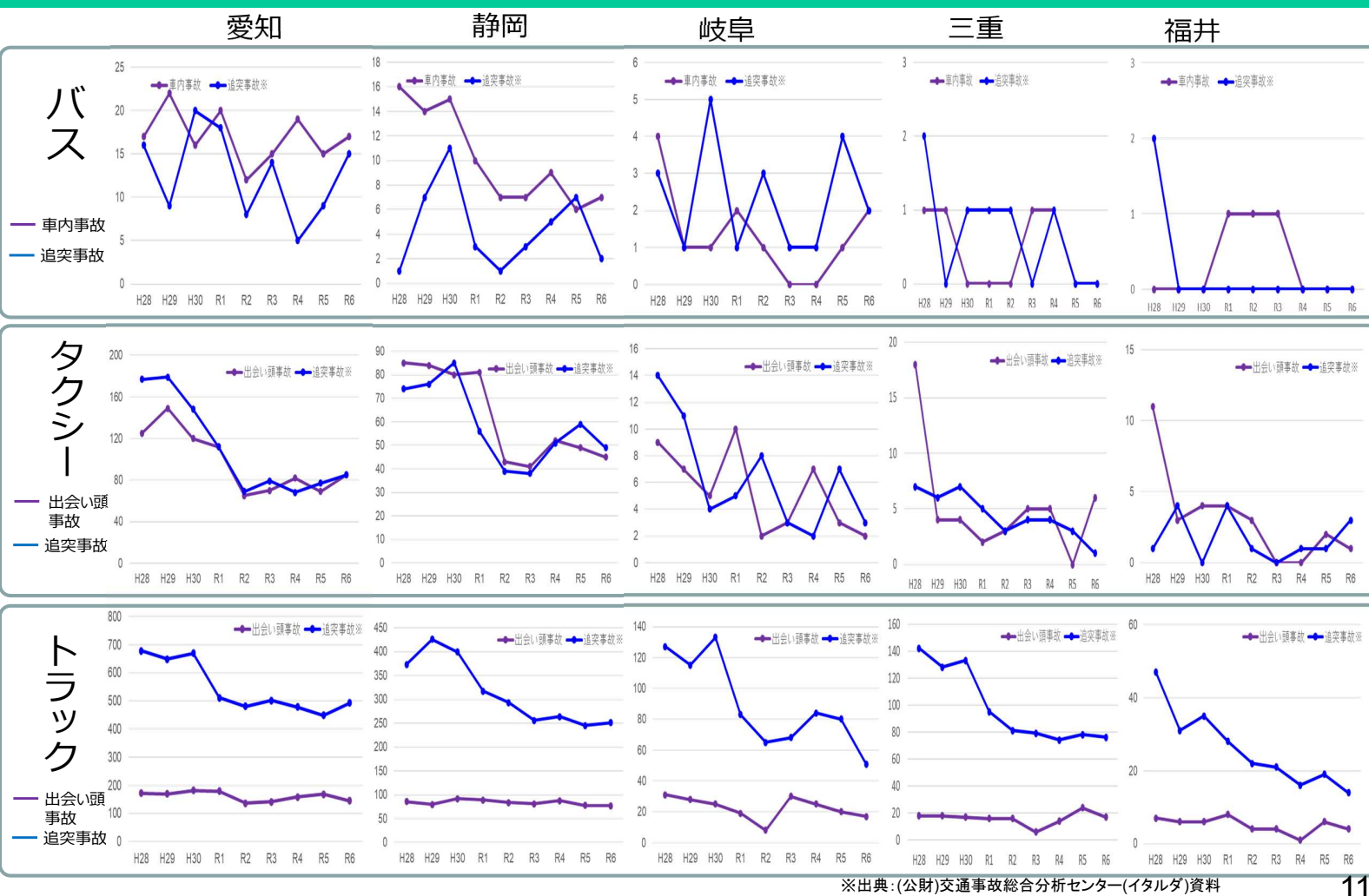
トラック：追突事故



※出典：(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)資料

10

【中部】県別 業態別 事故類型別の推移(平成28年～令和6年) 中部運輸局



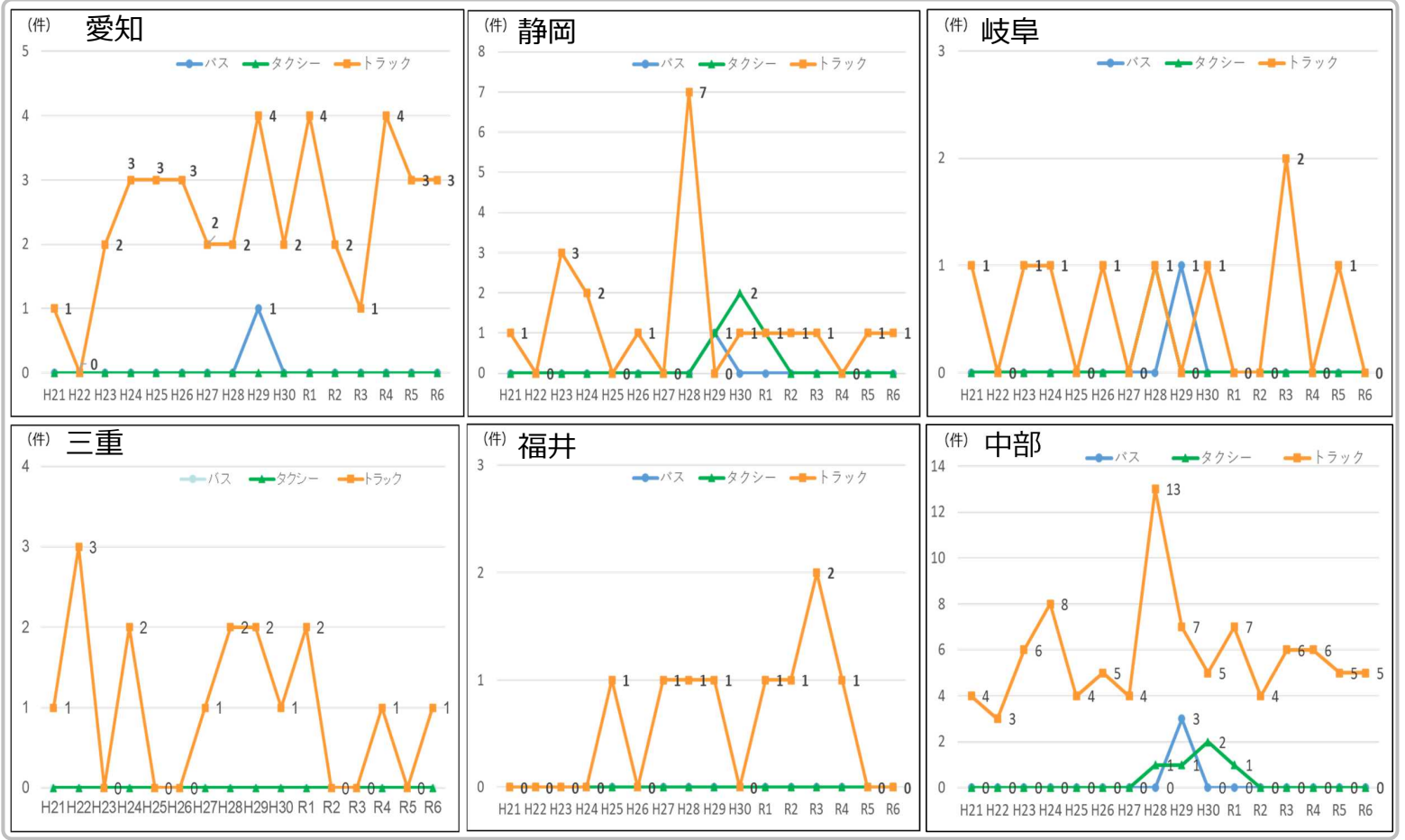
11

【中部】業態別 事故類型別 人身事故 (令和6年)

中部運輸局



12



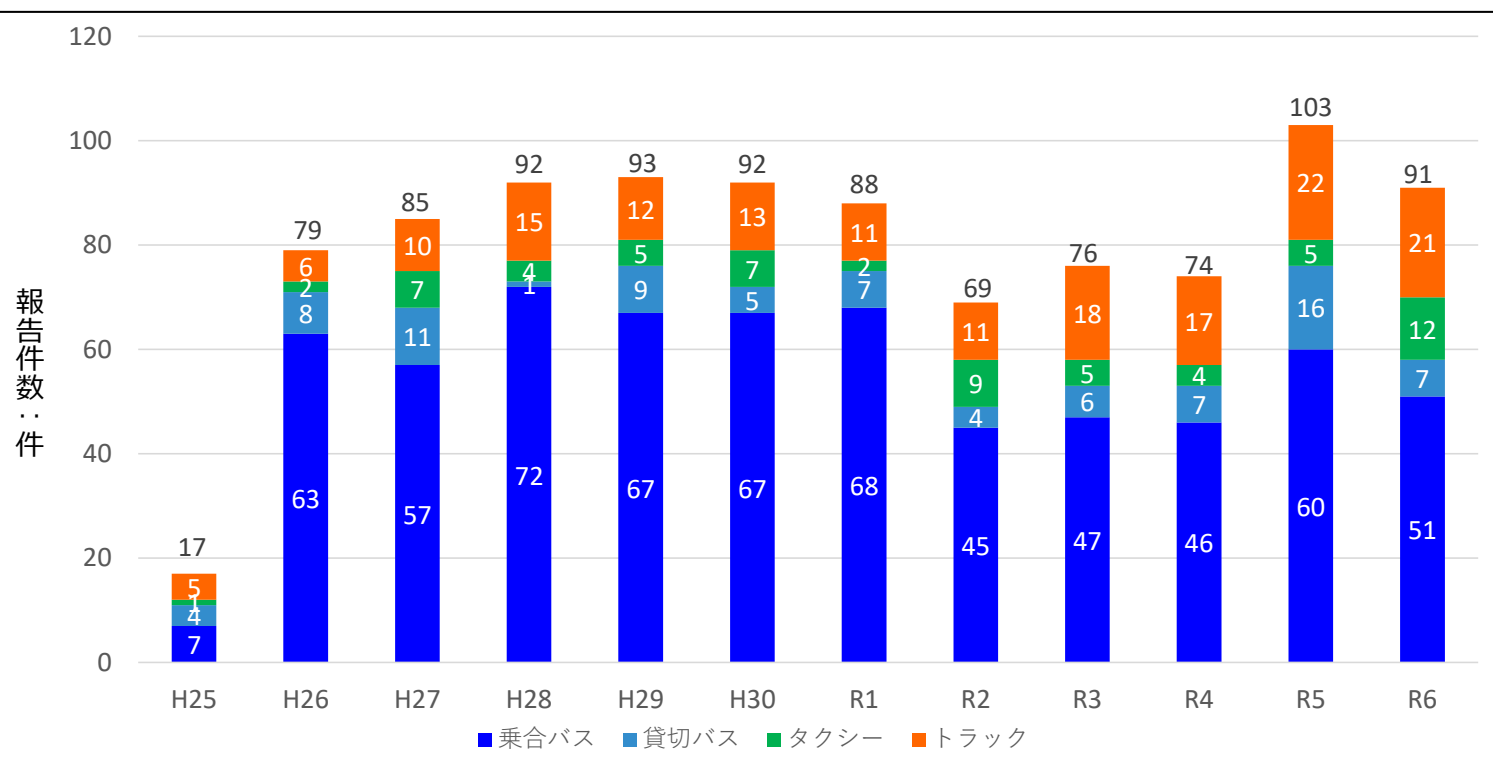
※出典:(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)資料

13

- 飲酒運転による事案・事故は 5 件発生。
- いずれも、点呼の適切な実施がなされていなかったことが要因の 1 つと推定。
- 令和 7 年は 3 件発生 (8 月末時点)

業態	発生日	時刻	運転者	負傷者	概要	推定要因等
貨物	令和 6 年 2 月	午後 4 時 4 0 分頃	4 0 歳代男性 経験年数：2 6 年	1	トラックが運行中、信号で停車中の乗用車の列に追突。その際、言動等に不審な点があり、酒気帯びが判明。事故惹起運転者は、午前 3 時に業務を開始。仕事の関係から 2 台連なって 2 地点間を往復する運行をしていた。その往復運転の途中、高速道路を降りた際に当該運転者が運転する車両がいなくなったことから、当該時点において飲酒をした可能性があるとのこと。	当該者については、認可を受けた車庫以外の車庫を使用しており、確実な点呼がなされていないかった。
貨物	令和 6 年 6 月	午後 9 時 4 0 分頃	5 0 歳代男性 経験年数：1 年 9 ヶ月	0	大型トラックが運行中、車両右側の風景を見ていたところ、左側車線へふらつき左側車線にはみ出し、当該車線を走行していたトラックに接触。その際、当該大型トラック運転者は接触に気が付かず、そのまま走行、信号で止まった際に接触されたトラック運転者が事故を申告。その後、事故の処理をしている際、酒気帯び運転が判明。当日の午後 3 時頃、酒気を摂取し仮眠、午後 9 時頃に目覚めた際、アルコールが抜けていると自ら判断し、運行を再開。	仮眠のためのアルコール摂取。適切な点呼の未実施。
貨物	令和 6 年 7 月	午前 3 時 3 0 分頃	2 0 歳代男性 経験年数：1 年 5 ヶ月	0	トラックが運行中、単独事故によりガードレールに衝突。当該トラックの運転者は、自宅を出る直前にアルコールを摂取、知人に会社まで送ってもらい、会社にて約 3 時間仮眠。仮眠後、アルコールが抜けたと自ら判断し、運行。	仮眠のためのアルコール摂取。適切な点呼の未実施。
貨物	令和 6 年 7 月	午前 1 0 時頃	5 0 歳代男性 経験年齢：2 年	0	トラックがサービスエリアにおいて物損事故を惹起。前日の業務終了直前の運転中に酒類を摂取、その後 SA で休息。休息明けにおいて、運行管理者と電話点呼では、ALC は所持していたが実際には使用していなかった。車内にクーラーボックス積み込み、コンビニで購入した酒類を摂取していた模様。	運転中のアルコール摂取。遠隔地の厳正な点呼の未実施。
貨物	令和 6 年 1 0 月	午前 9 時 2 0 分頃	5 0 歳代男性 経験年数：1 3 年 8 ヶ月	0	トラックが運行中、前方を走行する他の車両に追突。運転中に飲酒していた。また、遠隔地で電話での始業点呼をした際、運転者は酔った状態であったため、ALC を使用していないにもかかわらず使用したとして、点呼執行者に報告していた。	運転中のアルコール摂取。遠隔地の厳正な点呼の未実施。

- 全体としては、令和6年は健康起因事故は91件発生。前年と比べ12件（11.7%）減少。
- 貸切バスにおいて、令和6年は7件発生し、前年より9件（56%）と大幅減少。
- タクシーにおいては、令和6年は12件発生し、前年より7件（140%）の大幅増加。



※出典：自動車事故報告書に基づく届出